

## 環境保全

当 社	<b>2016年度目標</b> ●埋立処分量削減による、全ての事業場でゼロエミッション達成 (中期目標)	<b>2016年度結果</b> ●網干工場、大竹工場、播磨工場の3工場で達成	<b>2017年度目標</b> ●埋立処分指数 (2000年度基準) を16%以下 ●再資源化率75%以上
	<b>2016年度目標</b> ●すべての構外グループ企業でゼロエミッション継続	<b>2016年度結果</b> ●すべての構外グループ企業でゼロエミッションを継続した。	<b>2017年度目標</b> ●すべての構外グループ企業でゼロエミッション継続

### ●廃棄物削減・リサイクル

当社は、「循環型社会形成自主行動計画」に参加し、産業廃棄物の最終処分量 (埋立所分量) を2020年度に2000年実績比70%程度削減を目指し取り組んでいます。

2016年度の産業廃棄物発生量は、大竹工場でのボイラー本格稼動のために前年度より約20千トン増加しましたが、埋立所分量は、前年度より約70トン削減しました。

一方、構外グループ企業の産業廃棄物の発生量は前年度と同等でしたが、海外グループでは増加しました。

今後も、2020年度の削減目標に向け、埋立処分量を削減に取り組んでいきます。

当社グループでは「すべての事業場でゼロエミッション達成 (産業廃棄物の発生量に対する埋立処分量が1%未満)」を目指しています。

2016年度は、当社6工場のうち網干工場、大竹工場および播磨工場の3工場でゼロエミッションを継続しました。一方、構外グループ企業では、ダイセルパックスシステムズ (株) がゼロエミッションを達成したことで、ポリプラスチック (株)、ダイセル物流 (株)、DMノバフォーム (株)、大日ケミカル (株)、ダイセルパイロテクニクス (株) の継続達成も含め、すべての構外グループ企業でゼロエミッションを達成しました。

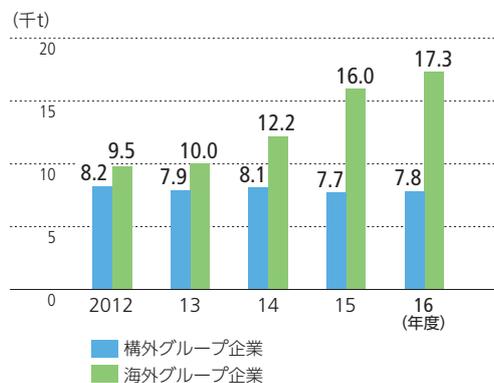
なお、網干工場、大竹工場、広畑工場および新井工場の廃棄物処理施設の維持管理計画書・維持管理記録書は、当社WEBサイトでご覧いただけます。

<https://www.daicel.com/csr/treatment.html>

当社の産業廃棄物発生量とリサイクル率の推移



構外、海外グループ企業の産業廃棄物発生量の推移



当社の最終埋立処分量と最終埋立処分指数



構外、海外グループ企業の最終埋立処分量

